

剣岳北面の展望・・・「大猫山」へ行く

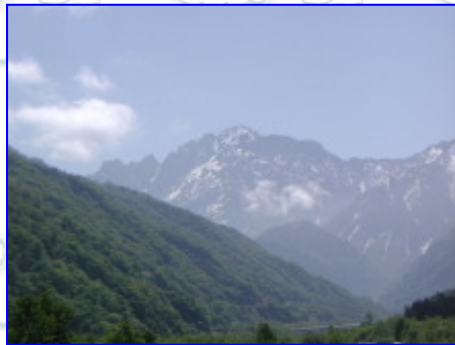
2002年春山情報 11号 5/6

連休最後の5/6 絶好の天気を予測し、万全の構えだったのですが、仕事・・・共同の農作業・・・があり、結局自宅を出発したのがなんと9:30・・・こんな時間に、「剣岳」方面行くのは山をなめていると叱られそうですが、・・・しかし、今日は本当に良い天気です。・・・時間的にも「大猫山」なので、時間がなかったら「大猫平」ということで予定通り馬場島まで・・・久しぶりの「剣岳」だったが、予想以上に雪が少なく、車で最後まで行けたのは、ラッキーでした。おかげで、予定通り、目標を「大猫山」に設定しました。大猫山の登山口で、登山道に行くか、雪渓に行くか迷ったのですが、結局、撮影のために「雪渓」を直登することにしました。

今日の日程

自宅 9:30 - 伊折 10:00 - 馬場島 10:30 - 「大猫山」登山口 10:45 - 「大猫山」
13:15 - 「大猫平」 14:00 - 「大猫山」登山口 16:00 - 馬場島 16:30 - 自宅 17:30
注・・・大猫平からの下りで、足跡に惑わされ、ルートを見誤ってしまいました。途中戻ったのでロスタイム30分以上あります。

久しぶりの伊折からの「剣岳」・・・今日は、思い切り・・・自分を迎えているような、素晴らしい天気だ。
4月中旬の気温・・・澄み切った青空が若葉に映えて美しい。・・・



馬場島の駐車場から、しばらく車で行くことができた。
こんなシーズンに、ここまでこれることはめったにないだろう。
・・・「小窓尾根」が眼の前に見えてきた。・・・この橋で、仙人谷からきた二人の登山家に出会った。



青葉の中に、浮かぶ「剣岳」・・・例年より雪が少ないが、やはり早月尾根にはたっぷり雪がありそうだ。
・・・その姿が次第に近づいてくる。・・・今日は連休最後の絶好の登山日和になりそうだ。



大窓・小窓とブナクラ谷への分かれ道の手前の橋から望む。
中はブナクラ谷への仮設橋がかけられる場所・・・まだ雪渓が残っている。
右は、結局・・・同行することになった、山菜とりきたお二人。・・・一人は頂上まで一緒に案内してしまった。



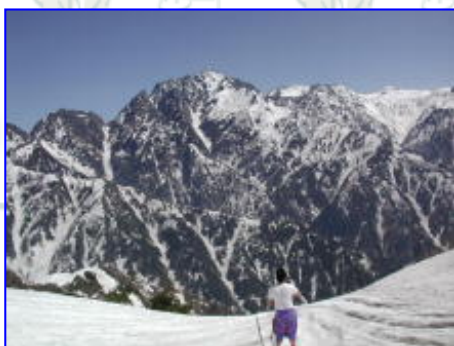
まだまだ、雪渓はびっしり残っていて、まるで夏のような登りやすさ。
どんどん高度を上げて、目の前に奥大日岳・大日岳が見えてきた。
ここで一人は装備が不足しているので下山することになった。



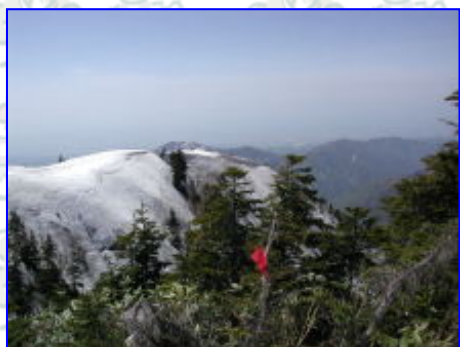
次第に、雪渓が角度を増してくる・・・同行者は地元の山岳会に所属したことがあるらしく、安全が確認できたので、最後まで一緒に登ることにした。・・・いよいよ、剣岳が見えてきた。小窓尾根が手前に大きく横たわっている。雪渓は登りやすく、同行の登山者は、ピッケル・アイゼンなしでもそれほど心配はない状態でした。



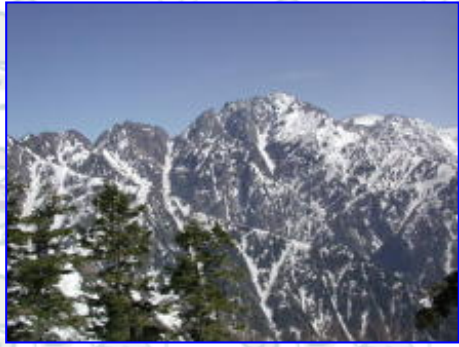
大きな「ダケカンバ」の木を見ながら、最後の雪渓を登りきると、とうとう「大猫山」に到着。やったー・・・圧倒されるほど近くに「剣岳」の見える、毛勝三山も本当に大きい。昨年、登ったときはガスで見えなかったが、本当によいところだ。全国のみなさん、是非「大猫山」へどうぞ。・・・



「大猫山」の頂上です。・・・ダイナミックな展望は、大パノラマ写真を参考にしてください。今年の春は雪解けが早いとはいえ、まだまだ山頂は残雪がびっしりです。



帰りは、大猫平を通って、稜線沿いに登山道を下りました。
今日は、1日中澄み切った天気、午後のこの時間もガスはありません。
春はこんな天気はとても珍しいです。・・・尾根の稜線から「剣岳」「大猫平の展望」「大猫平から大猫山への登り」



南面の登山道・・・「大猫新道」は、暖かくて雪解けが早い、この高度にもかかわらず、高原の花が咲き誇っています。

